



混合(分波)器

屋内用 10~55MHz/70~2150MHz用

MODEL

MX-CATV3

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

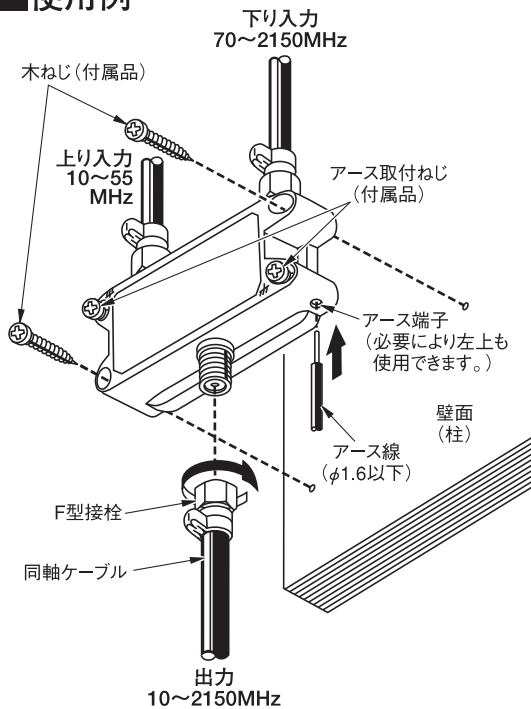
1. 本器はCATV上り帯域(10~55MHz)とCATV下り帯域(70~2150MHz)を混合(分波)できます。
2. 下り入力(70~2150MHz)端子と出力(10~2150MHz)端子の間で電流通過(最大DC15V・0.5A/AC30V・1A)ができます。
3. 接座座とハウジングを一体化した亜鉛ダイカスト製、裏ぶたは圧入装着式ですので、高度のシールド効果が得られ、電波の漏洩や飛込み防止に効果があります。

■標準性能表

項目	性能		
周波数帯域(MHz)	10~55	70~770	770~2150
通過帯域損失(dB以下)	2.5	2.5	2.5
阻止帯域減衰量(dB以上)	25	25	
端子間結合損失(dB以上)	20	20	
電圧定在波比(以下)	2.0	2.0	2.5
入力・出力インピーダンス(Ω)	75		
使用温度範囲(℃)	-20~+40(本体周囲温度)		
寸法(mm)	高さ57 幅76 奥行20.5		
質量(g)	100		

●下り入力(70~2150MHz)端子→出力(10~2150MHz)端子間電流通過
最大DC15V・0.5A/AC30V・1A

■使用例

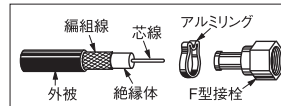


■同軸ケーブルの加工方法とF型接座の取付方法(別売品)

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



●アルミ箔付同軸ケーブル(FB型)の場合、アルミ箔は絶縁体と同様に加工してください。

① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)

② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

③ 外被から2mm程度はなして編組線をしていねいに切り落としてください。

④ 編組線をめくりあげます。

⑤ 編組線から3mmはなして絶縁体を切り、抜きとります。

⑥ F型接座を絶縁体(アルミ箔)と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

⑦ 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接座を破損します。

ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
- 芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付コネクターをご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

●F型接座締付トルク
2.5~3.0N・m(25~31kgf・cm)

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D832008402 平成18年1月